



みんなで取り組む  
千葉の教育

# 県教委 NEWS

〔発行者〕千葉県教育庁企画管理部教育政策課  
〒260-8662 千葉市中央区市場町 1-1

毎月2週目  
4週目頃  
発行予定

Vol.352  
3月-1号

令和7年3月発行

教育長メッセージ…P1 掲載

## 教育の舞台でつながる思い～教育長コラム～



昨秋の校長会議で、デンマークの哲学者キェルケゴールが野鴨に準えて人間たちに警鐘を鳴らした話をしました。繰り返しになってしまい恐縮ですが、改めてお伝えします。

デンマーク郊外の美しい湖に、渡り鳥である野生の鴨が毎年飛来していました。一人の親切な老人がこの野鴨たちに餌を与え始めると、鴨たちは「何千キロも飛び続けなくても、ここに居れば景色も良く快適で餌ももらえる。」と考え、その湖に棲みつくようになりました。やがて老人が亡くなり、餌をもらえなくなった鴨たちは餌を求めて飛ぼうとしましたが、羽の力が全く無くなって、丘を駆けることすらできなくなっていました。春になり、近くの山から大量の雪解け水が湖に流れ込み、他の鳥たちは飛んだり丘を駆け上がったたりして難を逃れましたが、この野鴨たちは水に流されてしまいました。

私は、どんな人でも組織でも、この野鴨たちのように激流に流される危険性を持っていると思います。だからこそ、謙虚で柔軟で、果敢でなければならないと考えています。

以前に紹介した「あなたの声を聴かせてくださいキャンペーン」で生徒たちから届いた声に対する、県立学校の先生方の感想や意見を募りました。「生徒が先生に言われて悲しかったこと」に対する先生方の感想としては、「教師どころか社会人としてどうなのかと思える事例が多くて驚いた。」「昔は許されていたからと、古い教育をしている人がいるのだなと思った。」「(暴力や暴言などの)言動をする教員が単純に悪いというのではなく、そうなってしまう原因や背景をしっかりと調査して改善していく必要がある。」などが挙げられました。大声で怒鳴る、罵詈雑言を浴びせる等の言動を繰り返す人は、そうした言動で指導効果があった、生徒が良くなったという体験を持っているのですが、それは指導効果ではなく、そうした言動を避けたくて生徒が表面上従っただけなのかもしれません。御自身の指導力や指導方法に自信を持っておられる先生こそ、生徒たちの声に今一度謙虚に耳を傾け、自らの言動や生徒への接し方を振り返っていただきたい。部活動中に自身の発した言葉を録音して聞いてみたり、学年や学校単位で先生同士互いに確認し合ったりして振り返ることで、新たな気づきがあり、教員としての一層の成長と、生徒たちからの信頼の向上につながるのではないのでしょうか。

「教員と生徒という関係以上に、一人の人間としてお互いを尊重すること。」先のキャンペーンでの、生徒からの提言の1つです。これを読まれた先生の感想の中に、「日頃からの教育活動において自分自身の戒めの言葉として大切にしていきたい。」という意見がありました。

# インデックス&ミニ・トピックス

インデックス(目次)	頁
教育の舞台でつながる思い～教育長コラム～	1
インデックス&ミニ・トピックス	2
心のバリアフリー教育 ～グッドプラクティス顕彰校 決定～	3
令和6年度千葉県国際教育交流推進事業 台湾派遣 成果報告会	4
ちばの子供たちへの食育推進に関する 連携協定について	5
災害用伝言サービス ～災害時の安否確認方法を確認しておきましょう～	6
子どもと親のサポートセンターより	7
県内学校ミニ・ニュース (市原市立五井小学校)	8
イベント情報(生涯学習課・文化振興課・競技スポ ーツ振興課・生涯スポーツ振興課) 国や県からの情報	別冊

## 東京 2025 デフリンピックに向けて ～デフアスリートを招いての交流会を開催～ (県立千葉聾学校)

県立千葉聾学校では、今年日本で開催される「東京 2025 デフリンピック」に向けて、様々な取組を行っています。

本校の幼児児童生徒がアスリートに憧れを抱き、自分たちも頑張ろうと励みにしたり、地域社会への発信を通して、聴覚障害への理解を促進したりすることを目的として、2月20日(木)にデフアスリートとの交流会を開催しました。

アスリートの模範演技、実技指導、ゲーム交流などを行い、幼児児童生徒からは「すごい」「速い」「かっこいい」などの声上がり、アスリートの偉大さを実感する貴重な時間となりました。

「本校で日本代表選手の壮行会を開催する」という最終目標に向けて、子どもたちの気持ちを高めると同時に、デフリンピックの存在をより多くの人に知ってもらうよう、様々な取組を進めていきます。



日本代表になってください！ 応援しています！！

## 県教委 NEWS

各学校のウェブページから「県教委ニュース」へのリンクをお願いしています。バナーもご活用ください。

◎さらに情報をお知りになりたい方、ご意見のある方は、次のアドレスにアクセスしてください。

県教育委員会ウェブサイト : <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/index.html>

フォトニュース : <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/kouhou/photo-index.html>

ご意見・ご提案メール : [https://www.pref.chiba.lg.jp/form/kyouiku\\_iken\\_kyouiku/form.html](https://www.pref.chiba.lg.jp/form/kyouiku_iken_kyouiku/form.html)

<アンケート>

[県教委ウェブサイトを使いやすくするためのアンケートにご協力ください。\(←ここをクリック\)](#)

# 心のバリアフリー教育

## ～ グッドプラクティス顕彰校 決定 ～

県教育委員会では、心のバリアフリー教育を推進しており、このたび、心のバリアフリー教育の取組において、他の学校にとって参考となり、優れた成果があったと認められる学校を「心のバリアフリー教育グッドプラクティス」として、以下のとおり顕彰することとしました。多くの応募をいただきありがとうございました。

顕彰名	学校名
最優秀賞	市川市立大野小学校
優 秀 賞	野田市立木間ヶ瀬小学校
	成田市立橋賀台小学校
	四街道市立みそら小学校
	袖ヶ浦市立平川中学校
	千葉県立千葉聾学校
奨 励 賞	船橋市立薬円台南小学校
	市原市立湿津小学校
	我孫子市立湖北台中学校
	睦沢町立睦沢中学校
	千葉県立佐倉南高等学校
	千葉県立夷隅特別支援学校

### 最優秀賞 市川市立大野小学校



#### 実践内容（一部抜粋）

- ① 思考ツールを活用した「障がい」についての話し合い活動の実施
- ② ボッチャ体験、アイマスク体験、車いす体験、高齢者疑似体験、妊婦疑似体験等の実施
- ③ パラリンピアンとの体験授業の実施
- ④ 全校児童、保護者、地域への「パラスポーツの魅力」「障がいについての理解」など普及イベント（大野パラ・福祉 EXPO）の開催
- ⑤ 千葉県立特別支援学校市川大野高等学園とのボッチャ大会の開催
- ⑥ 学習のまとめ、学習成果報告会の実施

担当：企画管理部教育政策課



# 令和6年度千葉県国際教育交流推進事業 台湾派遣 成果報告会

令和7年2月14日（金）、国際教育交流推進事業台湾派遣（令和6年12月17日～20日の期間で実施）の成果報告会を日本大学生産工学部津田沼キャンパス（習志野市）にて実施しました。工業系高校の派遣生徒代表4名と教員代表1名が、工業系高校人材育成コンソーシアム千葉総会に出席した企業の方々や工業系高校の校長先生方の前で、各自の研修テーマ等について発表しました。

（R6 派遣校）京葉工業高校、千葉工業高校、市川工業高校、清水高校、下総高校、東総工業高校、茂原樟陽高校、館山総合高校、姉崎高校

## 教育委員会挨拶 （細川県立高校統括監）



本派遣事業は平成30年度から実施しており、これまでに農業、商業、情報理数といった産業分野での交流を台湾の高校生と行ってきました。今年度は、半導体の世界シェア7割を誇る台湾に、工業系高校9校より14名の生徒と3名の教員を派遣しました。

## 教員による発表 東総工業 向井教諭



安全教育の観点から日本と台湾の違い等について説明し、日本の5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）が台湾でも使用されていました。

## 生徒による発表



半導体を使用した製品について紹介



学校交流で学んだことを発表



質疑応答

## 成果報告会 次第

- |   |             |                      |
|---|-------------|----------------------|
| 1 | 教育委員会挨拶     | 細川 義浩                |
| 2 | 生徒代表による成果報告 | 京葉工業高等学校<br>市川工業高等学校 |
| 3 | 教員代表による成果報告 | 東総工業高等学校<br>向井 美咲    |

## 生徒報告より

- 学校交流では台湾の生徒たちの主体的な学びを感じることができ、特に低い学年の生徒たちでも自主的に発展的な学習をしていることが印象的であった。
- 日本の安全かつ綺麗な環境は、当たり前ではなく、技術者たちの努力の積み重ねだと思った。
- 台湾の人たちは想像を形にする能力があり、それが様々な製品を作り出していると思った。
- 日本と台湾の高校生の英語力の差から改めて英語の大切さを感じ、専門教科だけではなく英語の学習にも力を入れたい。
- 電子ペーパーやAIを使った監視カメラなど、台湾の最新技術に触れることができたので、今後の課題研究に生かしていきたい。

担当：企画管理部教育政策課

# ちばの子供たちへの食育推進に関する連携協定について

令和6年12月25日付で、県、県教育委員会、JAグループ千葉の3者により連携協定を締結し、農業・農村の役割や「ちば」の食材、食文化等について将来を担う子供たちの理解醸成を図るとともに、学校給食における地産地消の一層の推進に向け、下記のように連携・協力していくこととなりました。

## 協定内容

### (1) 農業体験活動の推進

- ・学校等における食育活動でのスムーズな連携・情報共有に向け、県内17箇所のJAに食育担当連絡窓口を設置
- ・各JAのちば食育サポート企業への登録の推進
- ・JAグループ千葉「食育活動支援事業」を活用した米づくり活動等の取組拡大

### (2) 学校給食における地場産物の活用促進

- ・栄養教諭に対し、県内JAから出荷される農産物の出荷情報の提供
- ・学校給食関係者とJAとの連携強化（会議等による地場産物活用推進）

### (3) その他農業の理解につながる食育の推進

- ・県内JAの施設、生産者の農場の見学受入れ
- ・地域の農業を理解するための出前授業におけるJA職員や生産者の講師派遣等
- ・農産物の生産に係るコストや価格形成について理解を深めてもらう啓発活動



現在、県内17箇所のJAへの食育担当連絡窓口の設置や県内JAから出荷される農産物の出荷情報提供に向けて準備を進めています。提供できる情報が整い次第、ご連絡いたします。

連携協定締結式について、  
こちらからご覧いただけます。

担当：教育振興部保健体育課



平時のうちに  
**確認**を！

# 災害用伝言サービス

～災害時の安否確認方法を確認しておきましょう～

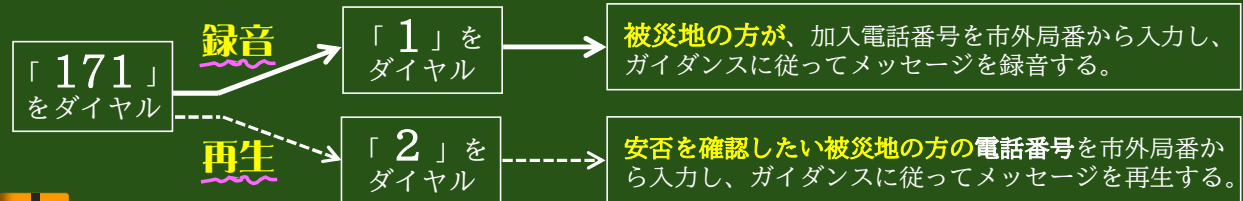
地震などの大きな災害が発生すると、被災地への電話が殺到して回線が混雑し、つながりにくくなります。通信各社では、こうした通信の混雑の影響を避けながら、家族や知人との間での安否確認や避難場所の連絡等をスムーズに行うため、固定電話・携帯電話・インターネット等により「**災害用伝言サービス**」を提供しています。本サービスは、毎月1日と15日などに体験利用ができるので、この機会に家族や知人との安否確認方法を確認しておきましょう。

## 災害用伝言ダイヤル（171）

災害時に、被災地の方が、固定電話、携帯電話等の電話番号宛に安否情報（伝言）を音声で録音（登録）しておくとし、その電話番号を知っている方は、全国から音声を再生（確認）することができます。

一般の固定電話、携帯電話、スマートフォン等から利用ができます。

### ★伝言ダイヤルの録音・再生方法



※録音するメッセージに暗証番号をつけることができます。

※詳細については、運営している各社（NTT 東日本、NTT 西日本）のホームページを御覧ください。

## 災害用伝言板

災害時に、被災地の方が、携帯電話等のインターネット接続機能を使い、安否情報（伝言）を文字によって登録しておくとし、その電話番号を知っている方は、登録された安否情報を確認することができます。

携帯電話、スマートフォン等から利用ができます。

### ★伝言板の登録・確認方法



※詳細については、運営している各社（NTT ドコモ、KDDI (au)、ソフトバンク、ワイモバイル、楽天モバイル）のホームページを御覧ください。

※災害伝言板（Web 171）は、上記の災害伝言板とは異なる伝言板で、NTT 東日本、NTT 西日本が運営しています。

☆本件に関する問い合わせ先：防災危機管理部危機管理政策課 Tel：043-223-3402



# 子どもと親のサポートセンターより

## 相談窓口について

いつでも、御相談ください♪

年度末になり、新しい学年やクラスのことなどで不安になることがあると思います。そんな時は、一人で悩まずに、相談してください。子どもと親のサポートセンターには様々な相談窓口があります。



千葉県子どもと親のサポートセンター  
マスコットキャラクター こさぼん(春)

### ◆SNS相談

面と向かっては相談できないこと、思い悩んでいることがあれば、気軽に相談してください。専門のカウンセラーが、みなさんの悩みに応えます。

◇実施日 毎週火曜日・木曜日・日曜日 18時から22時まで

◇相談方法 右の二次元コードでLINEアプリを読み取り、友だち追加してメッセージを送ると、専門のカウンセラーが相談に応えます。



SNS相談 二次元コード

### ◆ワンストップ・オンライン相談

Zoomを使ってオンラインでも相談できます。

音声のみやチャットでも相談可能です。

◇相談時間 平日月曜日から金曜日の9時から17時まで

◇申込方法 右の二次元コード又は下記URLよりWeb予約受付可。

当日予約も可

◇ホームページのURL：[https://cms2.chiba-c.ed.jp/kosapo/reserve\\_online](https://cms2.chiba-c.ed.jp/kosapo/reserve_online)

※保護者の方、学校の先生方の御相談も受け付けています。



ワンストップ・オンライン相談  
二次元コード

### ◆電話相談

24時間対応をしています。学校生活に関すること、心や身体のこと、その他の心配事などお気軽に御相談ください。

◇電話番号 0120-415-446

### ◆Eメール相談

◇宛先 [saposoudan@chiba-c.ed.jp](mailto:saposoudan@chiba-c.ed.jp)

◇件名は必ず「相談」としてください。件名がない場合お返事ができないこともあります。

◇迷惑メール対策等の設定をされている方は、上記のアドレスからメールが受信できるように、メールの設定を御確認ください。

◇サポートセンターからの返信は、数日かかることがあります。

# 県内学校ミニ・ニュース (市原市立五井小学校)

本校は、明治7年に開校し、本年度で創立150周年を迎えました。JR五井駅を中心とした市原市の商業の中心地に位置しています。徐々に街の様子も変化し、児童数は減少傾向にはありますが、700名を超える児童が在籍しています。



## 学校の働き方改革につながる ~校務DXの取組を紹介~ 電話が止まらない!? コロナ禍の職員室

児童が欠席する場合、かつては保護者が紙の欠席届を登校班に渡していました。コロナ禍になってからは、保護者が電話で欠席連絡をするようになり、発熱による連絡が急増しました。受けた欠席連絡を担当に伝えるだけで精一杯となり、職員間の情報共有までたどり着かないこともありました。

## 学校コミュニティサービス

**ー学校と保護者のコミュニケーションをデジタル化ー**  
市原市では、市民と地域、行政をつなぐデジタルコミュニケーションプラットフォーム、いわゆるDCPという基盤を活用し、保護者と学校をデジタルでつなげる学校コミュニティ、電子回覧板や行政から自治会へデジタルで情報を伝える町会コミュニティ等のサービスを展開しています。

このサービスで、学校からの連絡をウェブサイト上で確認でき、メール、LINEでも受け取れるため、ペーパーレスにもなり、また、児童の欠席や遅刻連絡をウェブサイトから行うことができるようになりました。



## 欠席者一覧の作成を自動化

**ー電話対応に追われる職員の発想からー**

自動化ツールPower Automateを利用し、保護者から学校に届いたメールの本文を項目ごとに区切り、Excelに集約することで連絡処理を自動化し、担当がわかりやすく情報を得る仕組みを整えました。

## 校務用パソコンで教室の職員も確認可能に

もちろん電話連絡も引き続きありますが、職員がその連絡内容をFormsに入力すると、Excelに集約されるようにしたことで、情報が職員全員に行き渡ります。校務用パソコンのTeamsでも確認できるほか、写真のように職員室出入口にモニターを設置することでパッと見てわかるようにし、効率化を図りました。

